

大正十一年四月二十六日ノ強震ニ

因ル東京市内建築物被害ノ狀況

警視廳調

目次

- 一、建築物被害ノ概況
- 二、鐵骨造建物
- 三、石造及ビ煉瓦造建物
- 四、木骨石造及ビ木骨煉瓦造建物
- 五、木造建物
- 六、煉瓦造煙突
- 七、結論

大正十一年四月二十六日ノ強震ニ

ヨル建築物被害調査

一、建築物被害ノ概況

前記強震ニヨル東京ニ於ケル建築物ノ被害ヲ表示スレバ次ノ如シ。

一、鐵骨造建物帳壁又ハ間壁ノ罅裂又ハ脱落	三件
二、石造建物倒潰又ハ破損	二件
三、棟瓦造建物ノ破損又ハ罅裂	四件
四、木骨煉瓦造又ハ石造建物ノ壁墜落	六件
五、木造建物ノ傾斜	三件
六、木造建物ノ壁及天井ノ破損又ハ罅裂	無數
殊ニ塗家ニ多シ	
七、木造建物ノ一部破壊	二件
八、木造建物ノ梁墜落	一件
九、屋根瓦破損	四十六件
一〇、土藏ノ鉢巻壁ノ破損又ハ崩壞	八十六件
一一、煉瓦造煙突ノ被害	四件
一二、土管煙突ノ倒壊	二件
一三、煉瓦造又ハ石造牆壁ノ倒壊	四件
一四、石燈籠ノ轉落	三件
一五、材木ノ倒レシモノ	無數

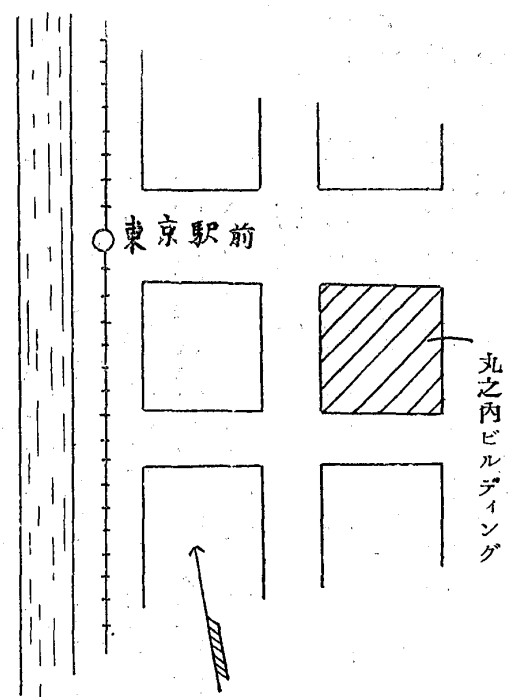
第九十九號 大正十一年地震東京市被害

一、死傷者

死者	男 一名
負傷者	男 十四名 女 七名

一、鐵骨造建物

(1) 丸ノ内ビルディング (工事中)

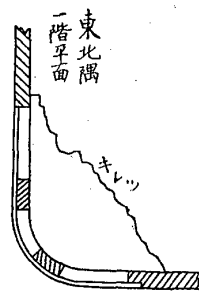


(イ) 設計ノ概要

建築面積 二、一三六、四五坪
階數 八、(他ニ地階アリ)
軒高 一〇二、五尺
構造 鐵骨煉瓦造帳壁式床鐵筋混凝土造ニシテ、地階ヲ除キ各階外壁ノ柱ハ何レモ普通煉瓦及ビ中空煉瓦ヲ混用シテ鐵骨ヲ包ミ、一階内部ノ柱及ビ

地階ノ各柱ハ何レモ鐵筋混凝土ニテ鐵骨ノ部分ヲ包メリ、外壁ハ普通煉瓦一枚中空煉瓦半枚ヨリナリ、間仕切壁ハ地階ニ於テハ普通煉瓦一枚ヨリナリシガ其他ノ各階ハ何レモ大型中空煉瓦ナリトス。

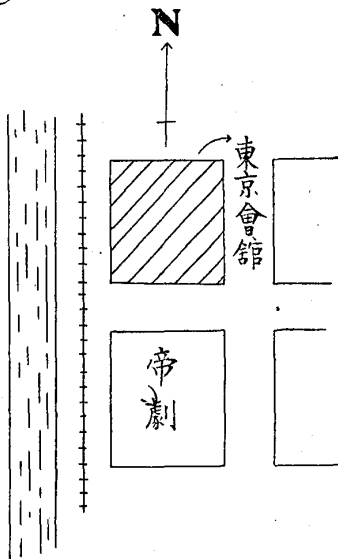
(ロ) 被害ノ程度



震災當時ニ於テハ各階ノ側壁及ビ鐵筋混凝土床ノ工事ハ何レモ完了シ、間仕切壁ハ上階ヲ除キ何レモ竣工シツ、アリキ、今其ノ被害ノ状態ヲ見ルニ、外壁ニ於テハ一階、二階及ビ三階ニ交叉又ハ斜ニ走ル罅裂ヲ生ジ、殊ニ南及ビ北ニ面スル壁面ニ於テ其ノ被害最モ大ナリ、又東北隅一階外壁ニ縦ニ走ル罅裂ヲ生ゼリ、間仕切ハ殆ンド全部中空煉瓦積ニシテ、最下階ヨリ五階迄ハ壁體ニ多數ノ罅裂ヲ生ジ、同様東西ニ互ル壁體ニ於テ被害殊ニ大ナリ、就中一二階ニ於テハ被害最モ大ニシテ間仕切ノ壁體脱落セシ所アリ

其他東北隅一階床ニ於テハ弧狀ヲナセル壁面ニ接シ罅裂ヲ生ゼリ。

(2) 東京會館 (丸ノ内所在工事中)



(イ) 設計ノ概要

五二、〇^坪

五、(他ニ地階アリ)

八六、〇^尺

建築面積

鐵骨煉瓦造帳壁式床鐵筋混凝土造ニシテ、柱ハ

地階ニ於テハ鐵骨ヲ混凝土ニテ包ミシガ、其他

ノ各階ニ於テハ輕量煉瓦半枚ニテ鐵骨ヲ包ムヲ

標準トセリ、外壁ハ普通煉瓦一枚、輕量煉瓦半

枚ヨリナリ、間仕切壁ハ殆ド全部木造摺壁ニ

シテ昇降機及ビ階段ノ周圍ハ鐵筋混凝土造ナ

リ、震災當時ニ於テハ各階床ノ鐵筋混凝土打ち

終リ、外壁ノ煉瓦積ハ四階迄出來シ居タリ。

(ロ) 被害ノ程度

外壁ハ南側ノ二階及ビ北側一階、東北隅ノ一二階竝ニ東側一階窓下ニ夫々罅裂ヲ生ジタリ。

(寫眞第三號ハ東北隅ニ於ケル一階外壁ノ罅裂ヲ示ス)

(3) 日本郵船株式會社 (丸ノ内所在工事中)

(イ) 設計ノ概要

一、二一八、九三^坪

八、(他ニ地階アリ)

一〇〇、〇^尺

建築面積

鐵骨煉瓦造帳壁式床鐵筋混凝土造ニシテ、東側、

北側、西側ノ外壁ハ中空煉瓦一枚、普通煉瓦半枚

ニテ、テラカッタヲ積ミ柱ハ何レモ中空煉瓦ニ

包ミ間仕切壁ハ何レモ大型中空煉瓦ナリ。

(ロ) 被害ノ程度

當時ニ於テ此ノ建物ハ鐵骨組立ヲ終リ、南側一部ヲ除キテハ漸ク二階床ノ邊マデテラカッタ及ビ帳壁ヲ積ミ、南側外壁ノ一部ハ六階迄帳壁ヲ積ミシ所アリ、鐵筋混凝土床ハ既ニ最上階床迄混凝土打チ終リ、内部間仕切ハ未ダ其ノ工事ニ著手セラレザリキ、震災ニヨル被害トシテハ北側一階ノ外壁ニ小ナル罅裂ヲ生ゼシ箇所ハ外面ノミ煉瓦ヲ積ミ内部鐵骨柱ニ接スル部分ハ煉瓦ヲ充填シアラザリシタメ殊ニ罅裂ヲ生ゼシメシ感アリ。

三、石造及ビ煉瓦造建物

石造及ビ煉瓦造建物ニシテ損害ヲ受ケシ主ナルモノハ次ノ四建物ナリ。

其他窓、出入口等ノ開口、壁體面積ニ比シテ大ナルモノ又ハ壁厚比較的ニ薄キモノニ於テハ、特ニ耐震的補強方法ヲ講ジタルモノ、外、今回ノ震災ノ被害ニヨルモノト認メラルル罅裂ヲ生ゼシモノ尠カラズ。

(1) 相互信託會社空家 (神田區錦町三丁目二十一番地)

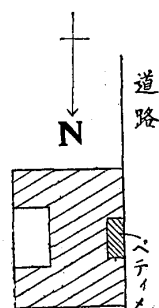
(イ) 設計ノ概要

建築面積	八、七五
階數	二、
軒高	一六、〇
構造	石造

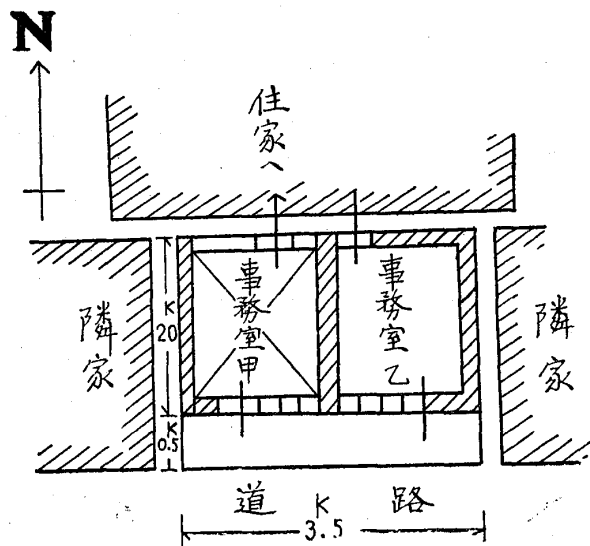
(ロ) 被害ノ程度

本建物ハ間壁ニ依リテ甲乙二戸ニ區劃サレ後方住宅ニ接續シ壁體ハ全部石造ニシテ壁厚九寸、(房州石^{寸9}×^{寸7}角ヲ用フ)ヲ有ス而シテ甲ナル一戸ノ西方及南方ノ二階外壁ハ小屋諸共殆ンド全部崩壞セシガ西方ニ近接セル木造家(殆ンド底合無ク隣接セリ)ニ支持サレ被害ヲ比較的輕減シタルガ如キ感アリ幸ヒ空家ナリシ爲メ死傷者ナシ。

(2) 本所電話交換局ベディメント墜落 (本所區林町三ノ四二)

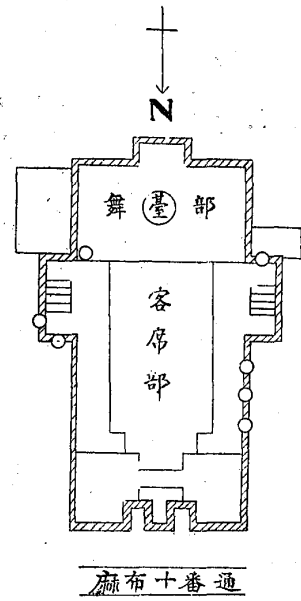


シ。(寫眞第四圖參照)



正面屋上ベディメントハ壁體共石造ナリシガ左右柱形上飾石諸共道路ニ倒落セリ幸ヒ道路通行人ニ死傷ナ

(3) 末廣座 (麻布十番)



凡例
 木造壁体
 煉瓦壁体
 印
 煉瓦生シ後置ヲ示ス

(イ) 設計ノ概要

建築面積

一〇、四〇^坪

階 數

二、(舞臺部階數三)

軒 高

三〇、〇^尺

構造 外壁煉瓦造

(ロ) 被害ノ程度

本建物外壁ハ舞臺部上階ヲ除キテハ全部煉瓦造ニシテ壁厚一枚半ヲ有セルモ施工頗ル粗悪ニシテ灰トロヲ用ヒ而モ空積ノ個所多カリシ爲メ入隅、出隅竝ニ迫持トクニ縦ノ罅裂又ハ窓臺上腰廻リニ摺動ニ因ル罅裂ヲ生ジ概シテ二階ノ部分ニ於テ被害ノ程度大ナリ。(寫眞第五第六號參照)

其他間内木造漆喰天井又ハ壁面ニ罅裂ヲ生ゼシ個所多シ。

(4) 愛宕山上觀望臺

(イ) 設計ノ概要

本建物ハ明治十九年ノ建築ニ係ル八角形四階建煉瓦造塔屋ニシテ階下壁厚三枚直徑二十四尺四階壁厚一枚半直徑十二尺高

六十二尺ヲ有ス。

(ロ) 被害ノ程度

本建築物壁體ノ各部分ニ互ル罅裂ハ全部本震災ニ因リ發生セシニ非ルモ本災害ノ爲從來ノ罅裂ヲ増大シタルモノアリ新ニ生ジタル罅裂ハ四階、三階ノ上部ニ多ク三階ニ在リテハ窓臺下端ニ於テ水平ノ罅裂ヲ生ジ四階ニ在リテハ柱形及窓ノ上下ニ於テ著シク罅裂シ被害最モ大ナリ。(寫眞第七號、及第八號參照)

大體ニ於テ本建築物ハ保安上危險ノ状態ニアルヲ以テ目下使用禁止中ナリ。

四、木骨石造、木骨煉瓦造建物

(1) 龍紋氷室 (神田區錦町二ノ二二)

(イ) 設計ノ概要

建築面積

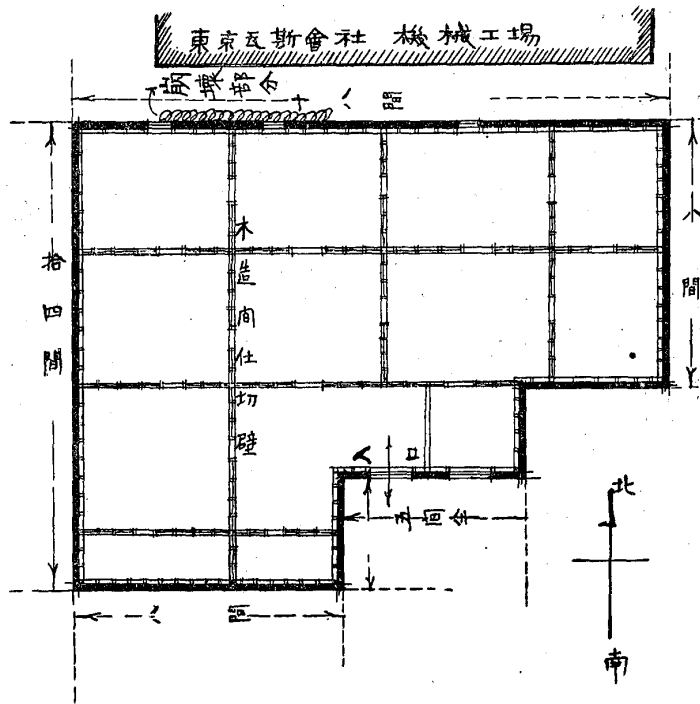
二〇四、五^坪

階 數

一、

軒 高

一八、〇^尺



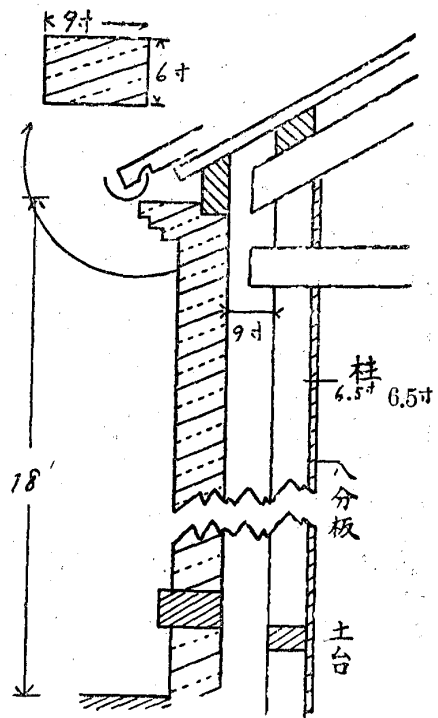
構造 木骨石造ニシテ外壁房州石(六寸)積木骨柱押六寸五分角(九尺乃至十二尺間建間柱押六寸角三尺間)内部横板張厚八分外壁上下裏トノ中間ニハおがくすヲ填充セリ。

(口) 被害ノ程度

本貯氷室ノ北側ニ面スル桁行十間餘ノ部分ノ石造外壁崩壊シ二間餘ヲ隔テ、隣接スル機械工場屋根及下見板ノ一部ヲ破壊セリ、幸ヒ機械工場内ノ職工ハ休憩時間中ニテ其ノ場所ニ居ラザリシ爲死傷者ナシ。

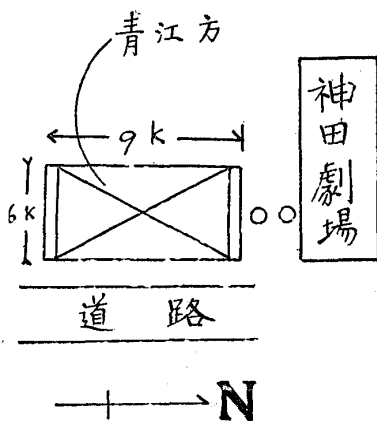
元來本建物ノ設計トシテハ鋸用「ボールド」ヲ以テ木骨ト外壁トヲ緊結スベキ筈ナリシヲ崩壊セル部分ニ對シテハ之ガ施工ヲ略シ而モ灰トロヲ使用セル爲メ外壁ト木骨ト同一體ヲナシテ振動セズ崩壊セルモノナリ。

(2) 住宅 (神田區三崎町神田劇場隣家青江方)



(イ) 設計ノ概要

本建物ハ梁間六間桁行九間軒高十八尺桁行木造兩妻煉瓦造
(壁厚一枚控壁巾二枚積出シ)。



(ロ) 被害ノ程度

神田劇場ニ面スル煉瓦造切妻ノ部分三角形ニ崩壊セリ、本建物構造ニ於テ兩端切妻壁體ニ接シテ木骨及小屋組(眞束小屋)ヲ略セル爲メ切妻壁體ガ單獨ノ振動ヲナシ斯ル被害ヲ招キタルモノナリ。(寫眞第九號參照)

(3) 商店 (神田區東五軒町一都木丑之助方)

木骨煉瓦造二階家ノ上階壁面ニ於ケル煉瓦(厚半枚)約六十六方尺餘崩壞シ隣家荷造場屋根約四坪ヲ破壞セリ。

(4) 倉庫 (内務省構内)

木骨煉瓦造倉庫ノ煉瓦壁面ニ多數ノ罅裂ヲ生ゼリ。
本被害ハ木骨部ノ乾蝕著シク而モ煉瓦積ニ灰トロヲ使用セルニ因ルモノ、如シ。

五、木造建物

(1) 木造塗家 (寫眞第十圖參照)

壁面及ビ天井等ノ罅裂及ビ脱落ノ被害極メテ多ク、二階建三階建等ノ建物ニアリテハ下階程被害多ク、又概シテ南、北ノ壁體即チ東西ニ互ル壁體ニ被害多キハ地震振動ノ方向ヨリ考ヘ當然ノ結果ナリ、麴町區有樂町阿部ビルディングノ被害ナドコノ一例ナリ。

(2) 土藏

木造塗家ノ被害ト同ジク又其ノ被害ノ數極メテ多ク何レモ鉢巻、壁面及ビ屋根瓦ノ崩落竝ニ之レニ伴フ下家ノ破壊又ハ下家、家根瓦ノ破損ノ如キモノナリ。(寫眞第十一、十二、十三、十四、十五圖參照)

土藏ノ壁體又ハ鉢巻ノ崩落セシ部分、屋根ノ形狀及ビ地震動ノ方向トノ關係ヲ、殆ド同型ノ土藏五十五ヲ實査シタル結果ニヨリ統計スレバ次ノ如シ。

(イ) 南、北ノ方向ニ切妻ヲ有スルモノ三十三ノ内

切妻部分ノ壁體又ハ鉢巻ノ落下セシモノ 十三

切妻ナラザル部分ノ壁體又ハ鉢巻ノ落下セシモノ 十六

切妻部分ト切妻部分ナラザル部分トノ双方壁體又ハ鉢巻

ノ落下セシモノ 四

(ロ) 東、西ノ方向ニ切妻ヲ有スルモノ十六ノ内

切妻部分ノ壁體又ハ鉢巻ノ落下セシモノ 三

切妻ナラザル部分ノ壁體又ハ鉢巻ノ落下セシモノ 十

切妻部分ト切妻ナラザル部分トノ双方壁體又ハ鉢巻ノ落
下セシモノ 三

(ハ) 東北及ビ西南ノ方向ニ切妻ヲ有スルモノ五ノ内

切妻部分ノ壁體又ハ鉢巻ノ落下セシモノ 三

切妻ナラザル部分ノ壁體又ハ鉢巻ノ落下セシモノ 一

切妻部分ト切妻ナラザル部分トノ双方壁體又ハ鉢巻ノ落
下セシモノ 一

(ニ) 西北、及ビ東南ノ方向ニ切妻ヲ有スルモノハ一アリテ

切妻部分落下セリ。

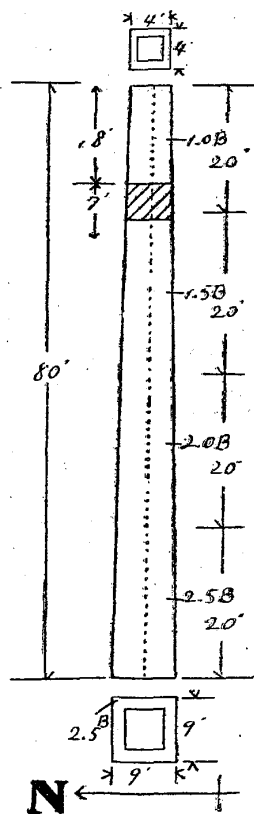
(3) 普通木造建物

普通木造家屋ニシテ壁面ニ罅裂ヲ生ジタル程度ノ損害ヲ受ケ
シモノハ是又殆ド無數ナレドモ、軸部ヲ破壊サレシモノハ極
メテ尠シ、本所區林町ニ於テ木造二階建瓦葺家屋ノ二階梁ノ
落下セシモノアレドモ、本家屋ハ震災當時軒高ヲ高クスル目
的ニテ修繕中ナリシモノニシテ不充分ナル東ヲ柱ノ上又ハ柱
ノ部分ニ取り付ケ重キ瓦葺ノ屋根小屋ヲ此等ノ不安定ナル東
ノ上ニ支ヘシメツ、アリシタメ地震ノタメ小屋ノ一部分前記
ノ東ヨリ落下シ二階梁ヲ破損スルニ至リシナリ。(寫眞第十六
圖參照)

尙日本橋區松島町十七番地所在木造二階建瓦葺家屋ハ傾斜シ
タレドモ此ノ家屋ハ各部ノ腐朽甚シク既ニ自然的ニ傾斜ヲ來
シツ、アリシガ、大正十年十二月及ビ今回ノ地震ニヨリ其ノ
程度ヲ増大シ寫眞ニ示スガ如キ傾斜ヲナスニ至レリ。(寫眞第
十七圖、十八圖參照)

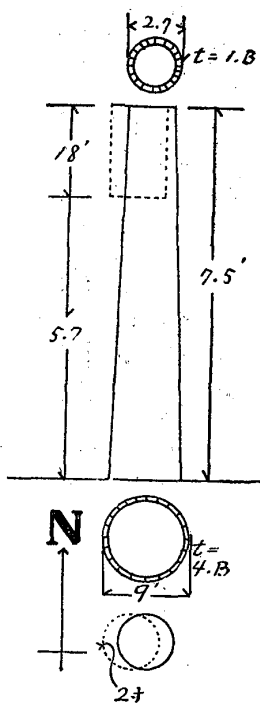
六、煉瓦造煙突

(1) 帝國塗料株式會社煙突 (深川區木場町一五)



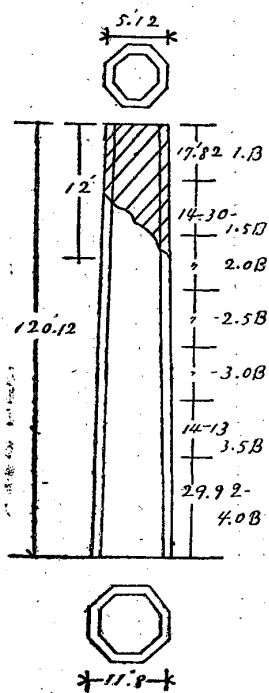
略圖ニ示スガ如ク煙突ノ上部ニ於テ (地上五十五尺ノ位置ニ
於テ) 約高七尺ノ部分廻轉現象ヲナシ北面ノ一部ハ破壊セリ。
(寫眞第十九號參照)
該煙突ハ既ニ熱應力ノ爲メニ壁面中央ニ縦ノ罅裂ヲ有セルモ
ノナリ。

(2) 浴場煙突 (芝區愛宕下町三ノ一)



略圖ニ示スガ如キ煙突ノ上部十八尺ノ部分ガ地上五十七尺ノ位置ニ於テ西方ニ摺動セリ。(寫眞第二十圖參照)

(3) 品川白煉瓦株式會社 (荏原郡北品川宿東宿町)



略圖ニ示スガ如キ煙突ノ上方高十二尺ノ部分方ニ崩壊シ煉瓦燒竈ノ上家屋根ヲ破壊セリ。
該煙突モ既ニ熱應力ノ爲メ八角形ノ一面ニ頂部ヨリ全高ノ中位迄罅裂ヲ有セルモノナリ。(寫眞第二十一圖參照)

七、結 論

前記ノ如キ鐵骨造帳壁式建物ニ地震力作用スルヤ下階程大ナル破壊力作用スルヲ以テ此ノ力ニ對シ建物ニ適當ナル對抗力無キモノトセバ下階ニ於テ被害ノ大ナルハ至當ノ結果ナリ、丸ノ内ビルディングノ如キハ外壁ヲ除キ内部ニハ地震ノ如キ破壊力作用シ建物ニ歪ミヲ生ゼントスルトキ之レニ對抗シ得ル強固ナル壁體ナク破壊力ノ作用サル、儘下階程大ナル歪ミヲナシ、間壁及ビ外壁ハ架構ノ歪ミニヨツテ生ゼシカニ堪ヘ

難ク、終ニ壁體ノ罅裂及ビ脱落ヲ見ルニ至リシモノト認メラル。

依ツテ斯ル建物ノ斯ル被害ヲ防止センニハ

- 一、柱ヲ剛強ナラシムルコト
- 二、横力ニ對抗シ得ラルベキ強度ノ壁體又ハ筋違ノ類ヲナルベク多ク内部ニ設クルコト
- 三、帳壁ニハ更ニ強度ノ大ナル材料ヲ用ヒ鐵筋ト緊結セシムルコト
- 四、柱ト横架材竝ニ大梁ト小梁トノ接手ヲ強固ナラシムルコト

丸ノ内ビルディングノ間仕切壁ニハ比較的強度ノ劣等ナル中空煉瓦ヲ使用セシガ、如何ニ完全ナル架構ヨリナル建物ト雖斯クノ如キ種類ノ建物ニ於テハ構造ノ狀況ニヨリ、地震力ノタメ下階ノ部分ニ於テハ多少ノ變形ハ免レ難キヲ以テ、斯ル中空煉瓦ヲ間仕切壁ニ使用シテ今回ノ如キ被害ヲ反復セザラシメンニハ前述ノ如キ適當ナル設計ニヨル壁體又ハ筋違ノ類ヲ作り以テ架構ノ歪ミヲ防止セザルベカラズ、石造又ハ煉瓦造建物ハ從來ノ實例ト等シク何レモ上階ニ於テ被害多シ、此ノ構造ニヨル建物ノ多クハ地震動ノタメ上階程振幅ノ大ナル振動ヲナシ、タメニ上階ノ窓ノ周圍又ハ出隅入隅等ニ罅裂ヲ生ズルモノニシテ地震更ニ大ナリシトセバ驚クベキ損害ヲ受ケシ建物極メテ多カリシナルベシ、此ノ構造ノ建物ニアリテハ壁長ヲ出來得ル限り小ニシ壁厚ヲ更ニ厚ク且又床ヲ鐵筋コンクリートトナシ、鐵筋コンクリート造ノ臥梁ヲ設ケザル限

第一圖

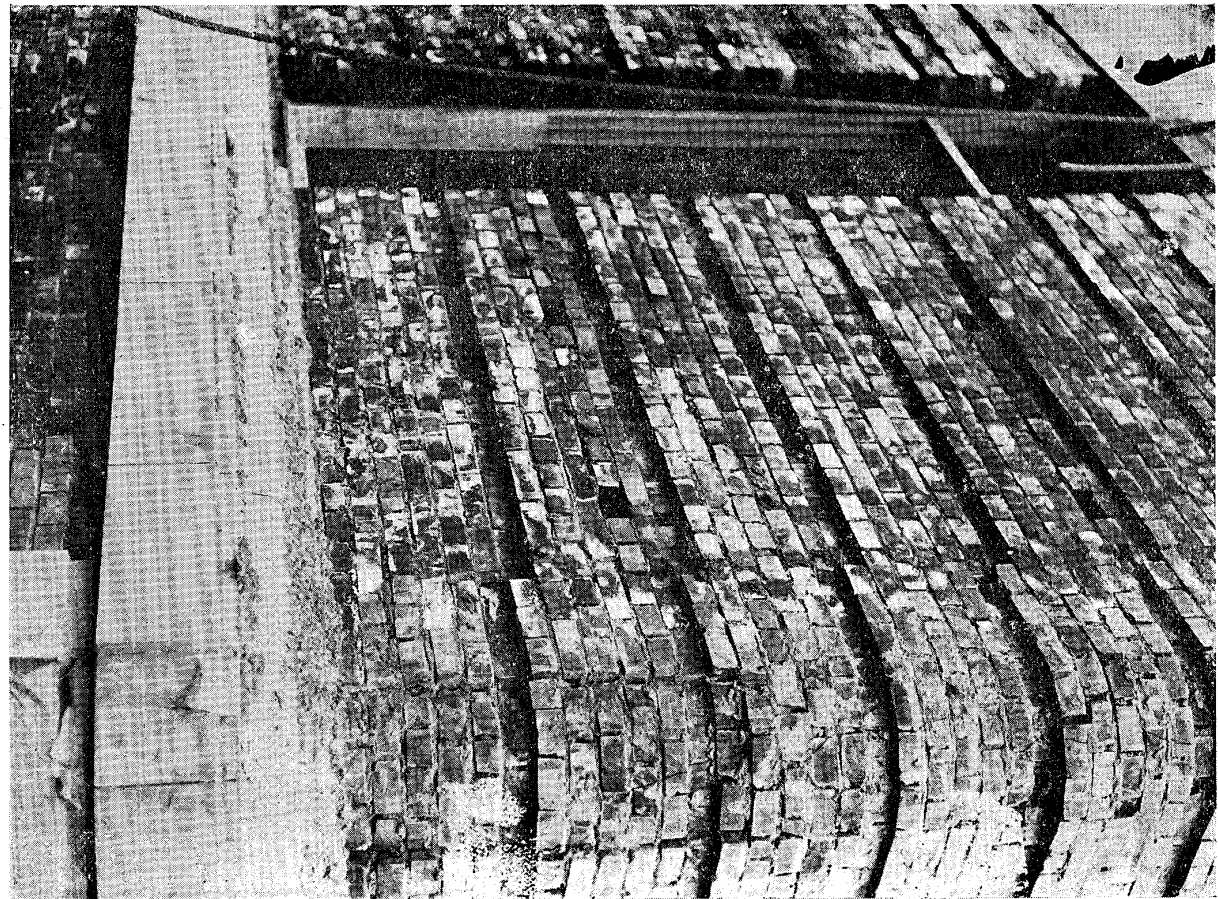


ス示ヲ況狀ノ裂罅面壁面正側東グンデルビ内ノ丸

第二圖

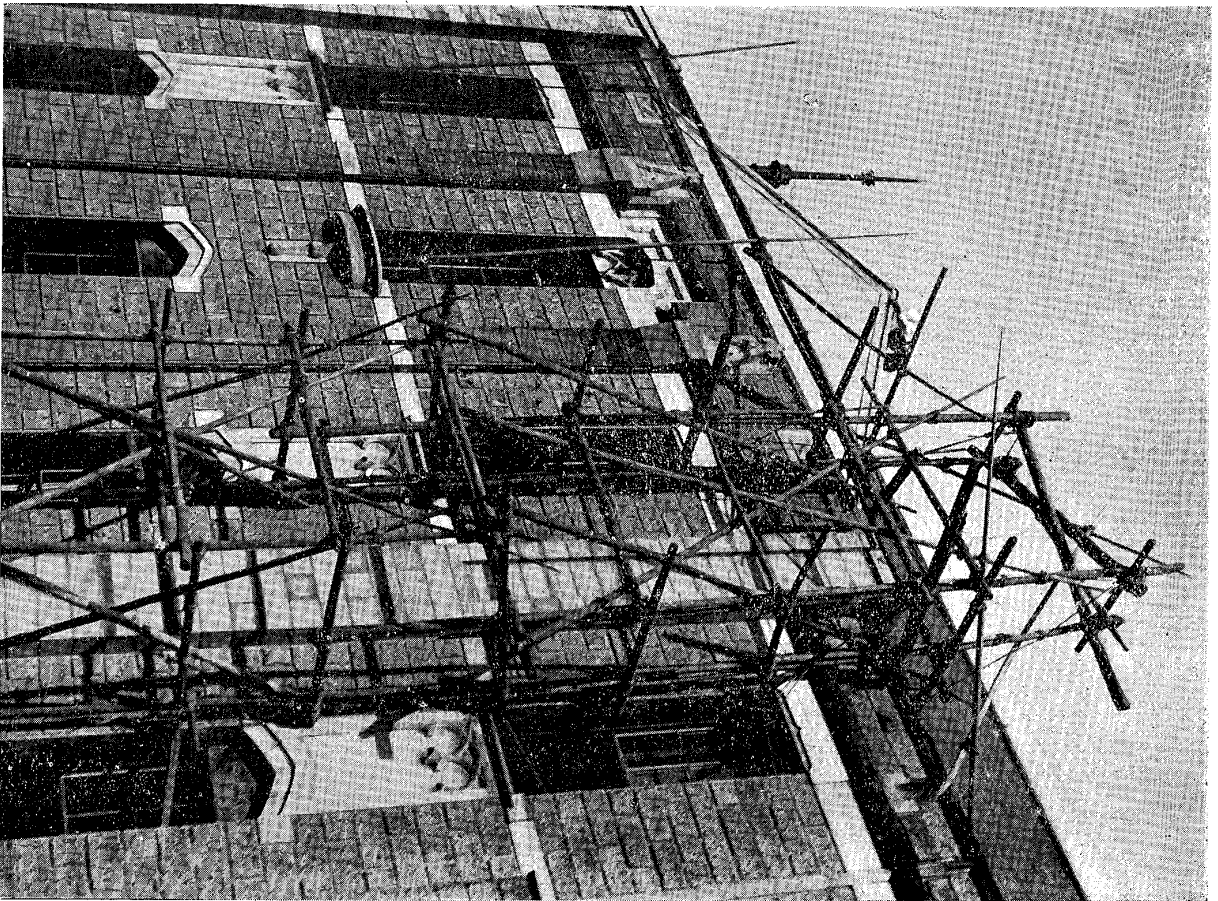


ス示ヲ裂罅ノ壁外側南グンデルビ内ノ丸



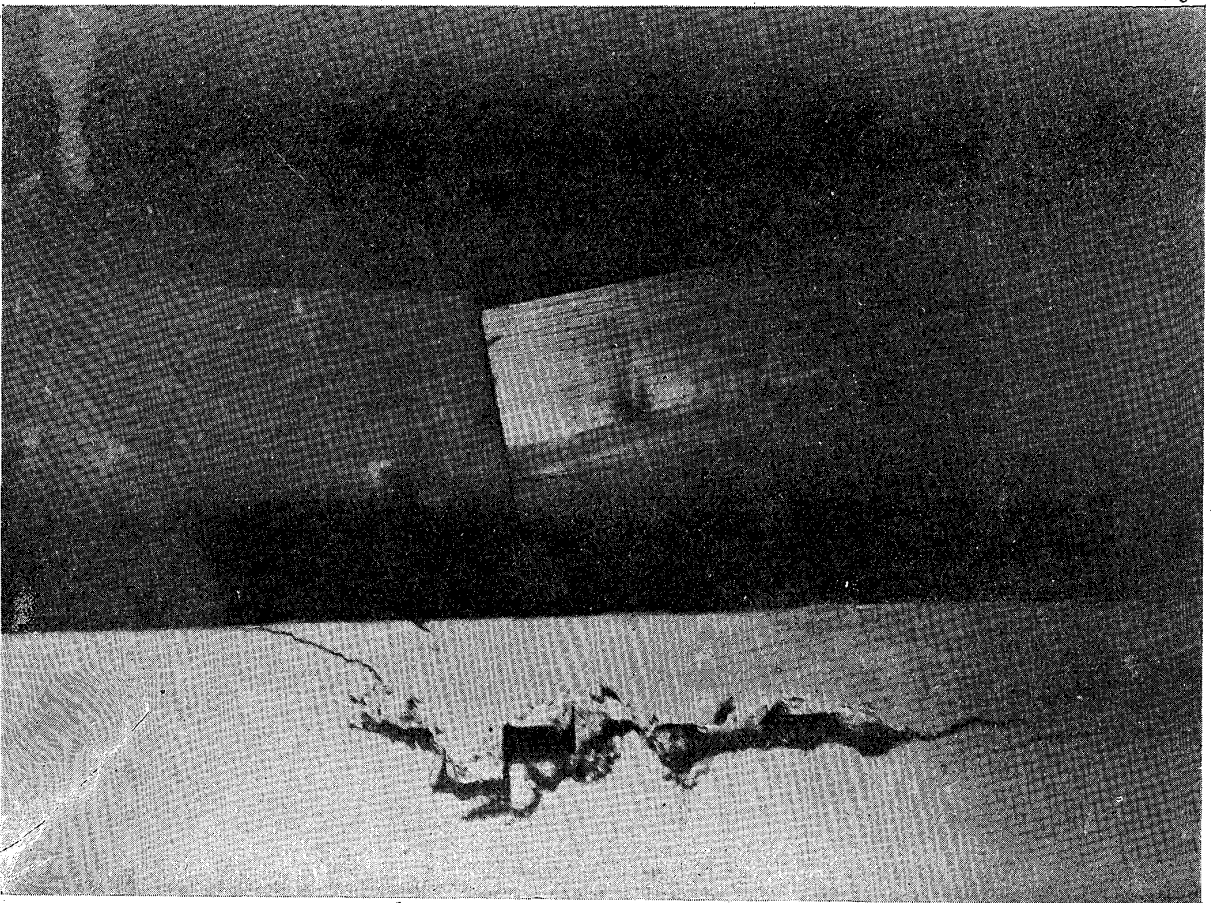
第三圖

丸内東京會館北東隅壁體ノ轉裂ヲ示ス



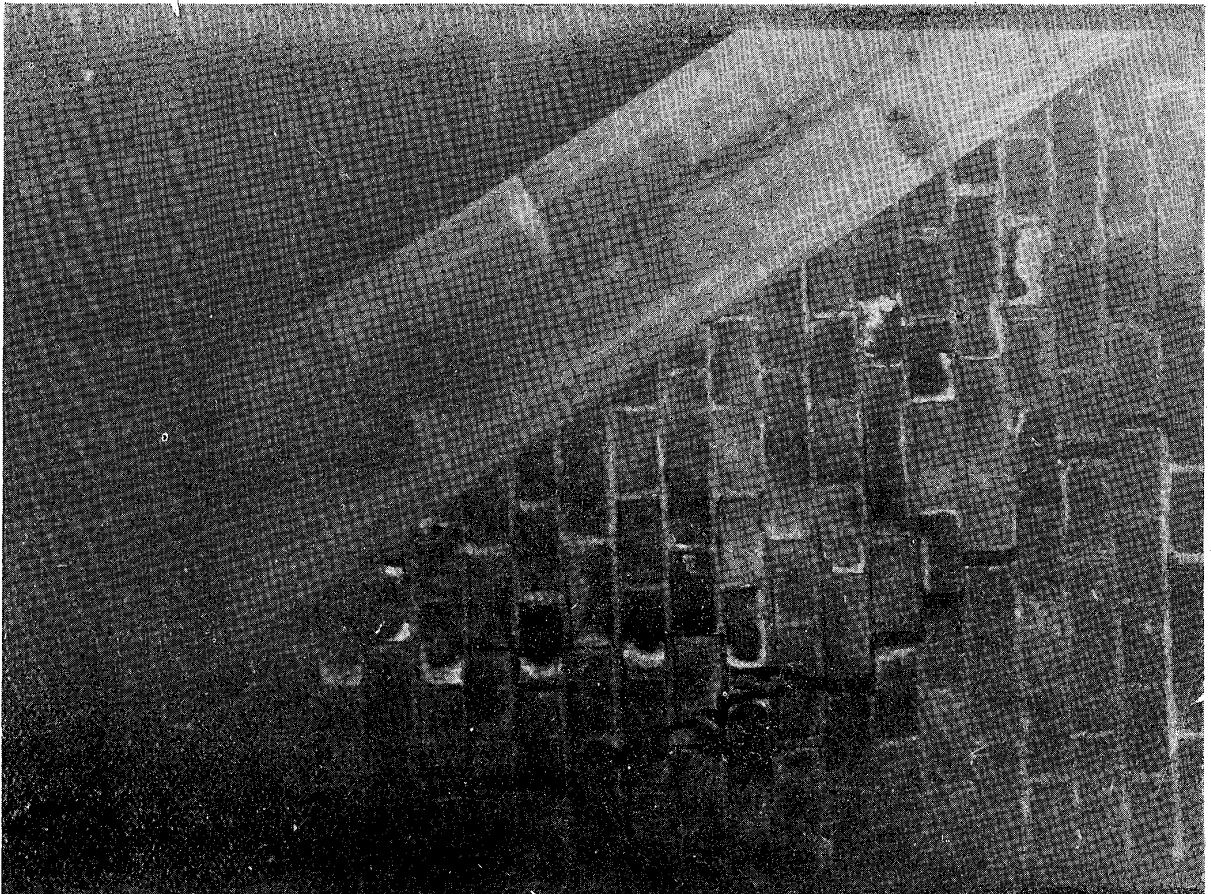
第四圖

本所區林町電話交換局石谷ノ中造ノ下セテ木
造トシテ復修セラルベク示ス



第六圖

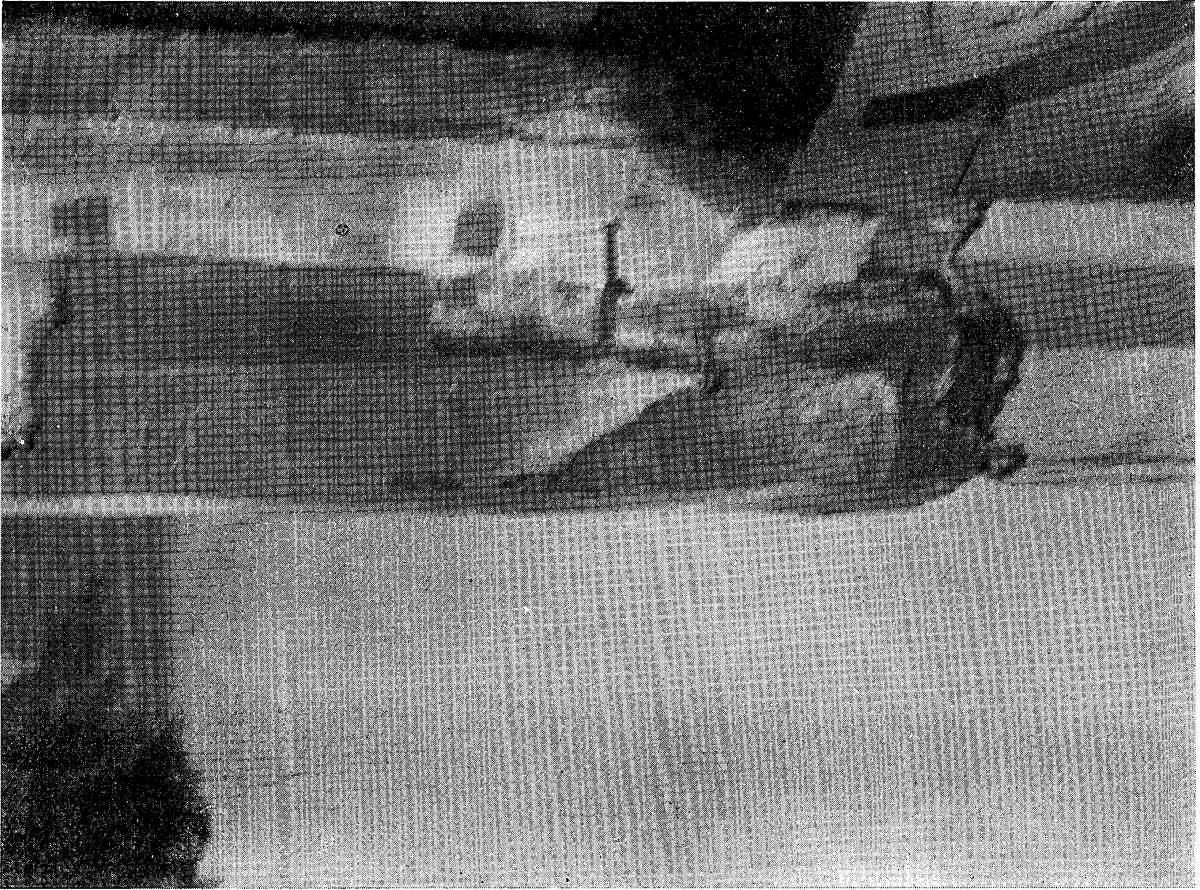
ス示ヲ況狀ノ裂罅 豐壁造瓦煉座廣末番十布麻
シ多分部ノ積築瓦煉ヒ用ヲ「ロト灰」テシニ惡粗テメ極ハ事工本



第五圖

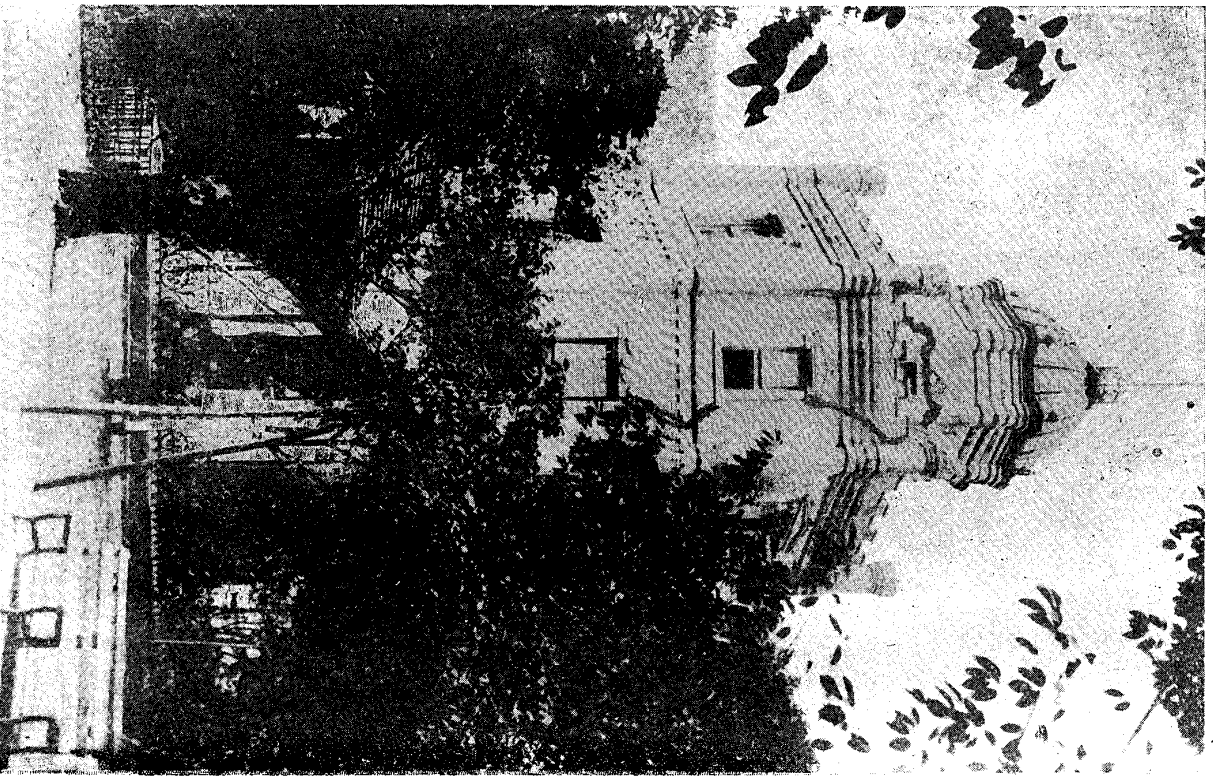
壁外ノ座廣末番十布麻

第八圖



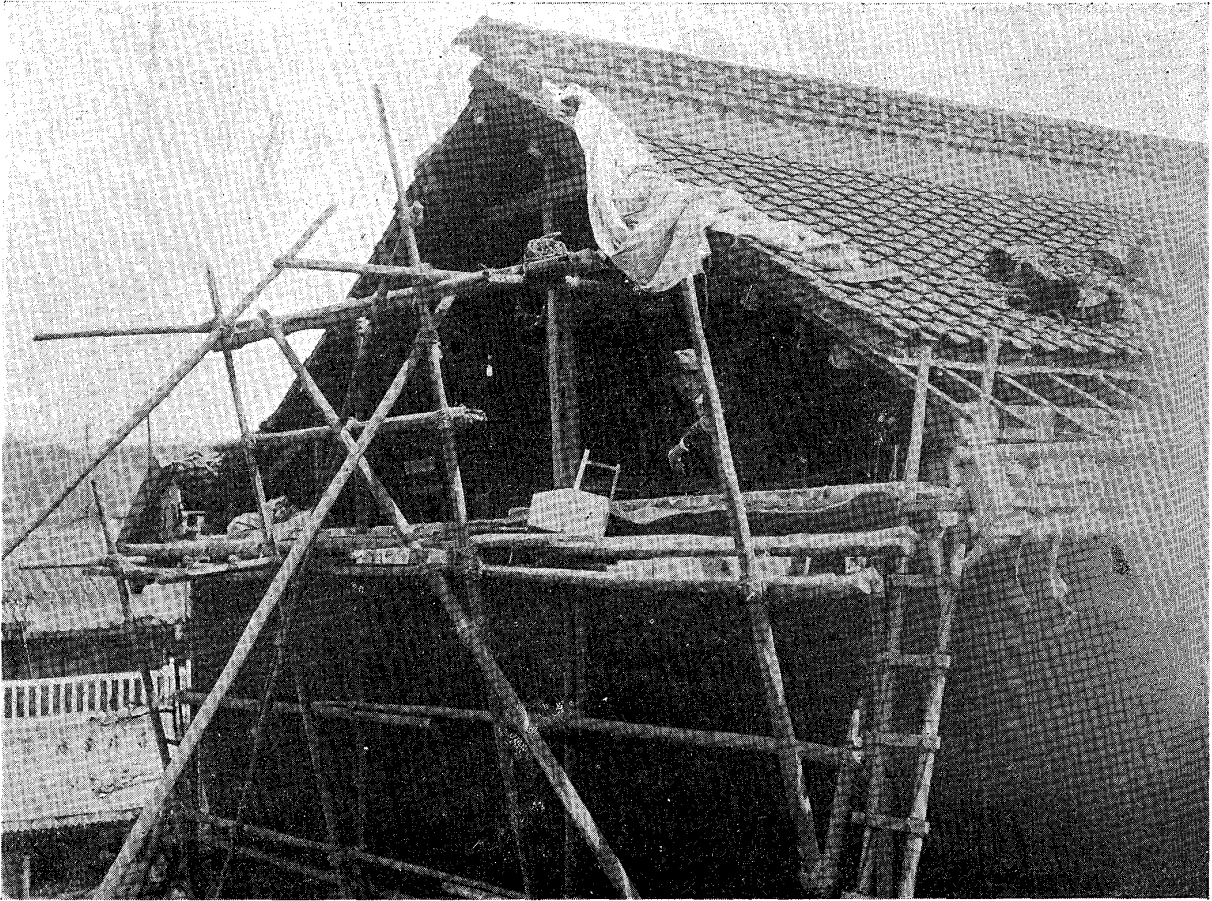
芝愛岩山煉瓦觀望臺上階柱形罅ヲ示ス

第七圖



芝愛岩山煉瓦觀望臺罅ノ狀示ス

第九圖



ス示ヲ況狀ノ壊倒妻切造瓦煉屋家造木方江青、隣揚劇田神町崎三區田神
リセ略ハ組屋小ルス接ヲ體壁妻切モルナ屋小東眞ハ組屋小本

第十圖



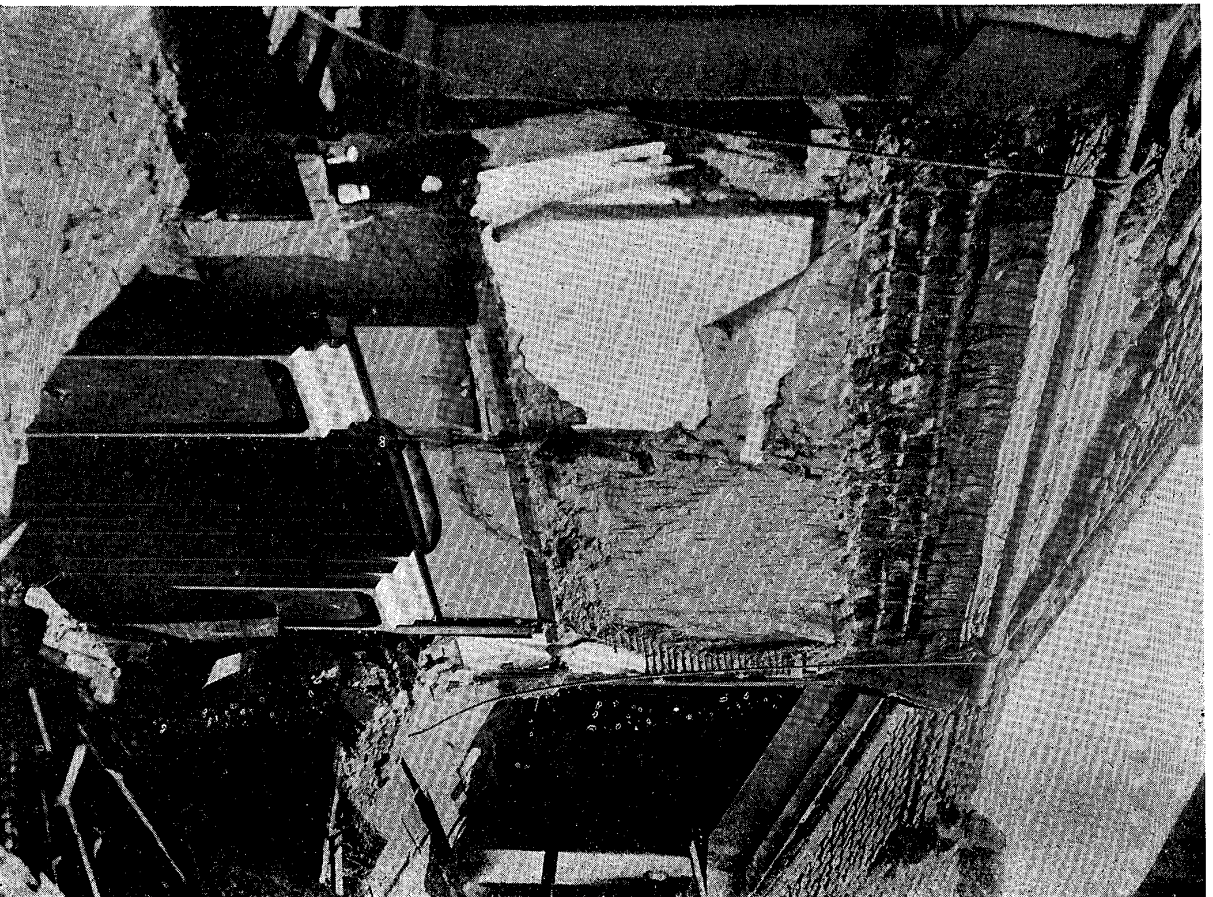
ス示ヲ裂罅ノ面壁家塗造木グンデルビ部阿二町樂有區町麴

第十四圖



藏土方岡占地番五〇一丁一町盤常區川深
ス示ヲ落脱ノ部壁面北

第十一圖



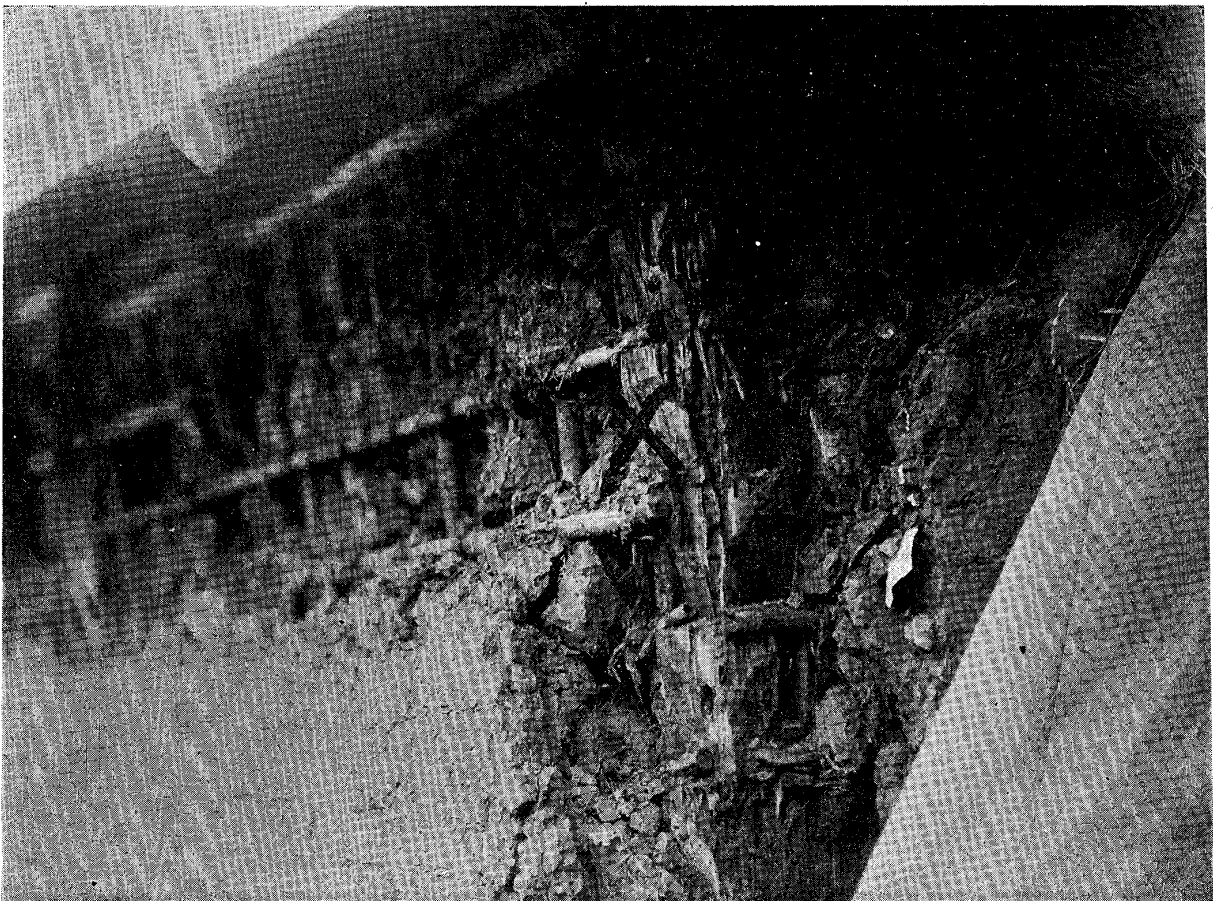
リ依ニ落脱壁藏土方田密一十二町谷神區芝
ス示ヲ況狀ノ壞破根家造木家下

第十二圖



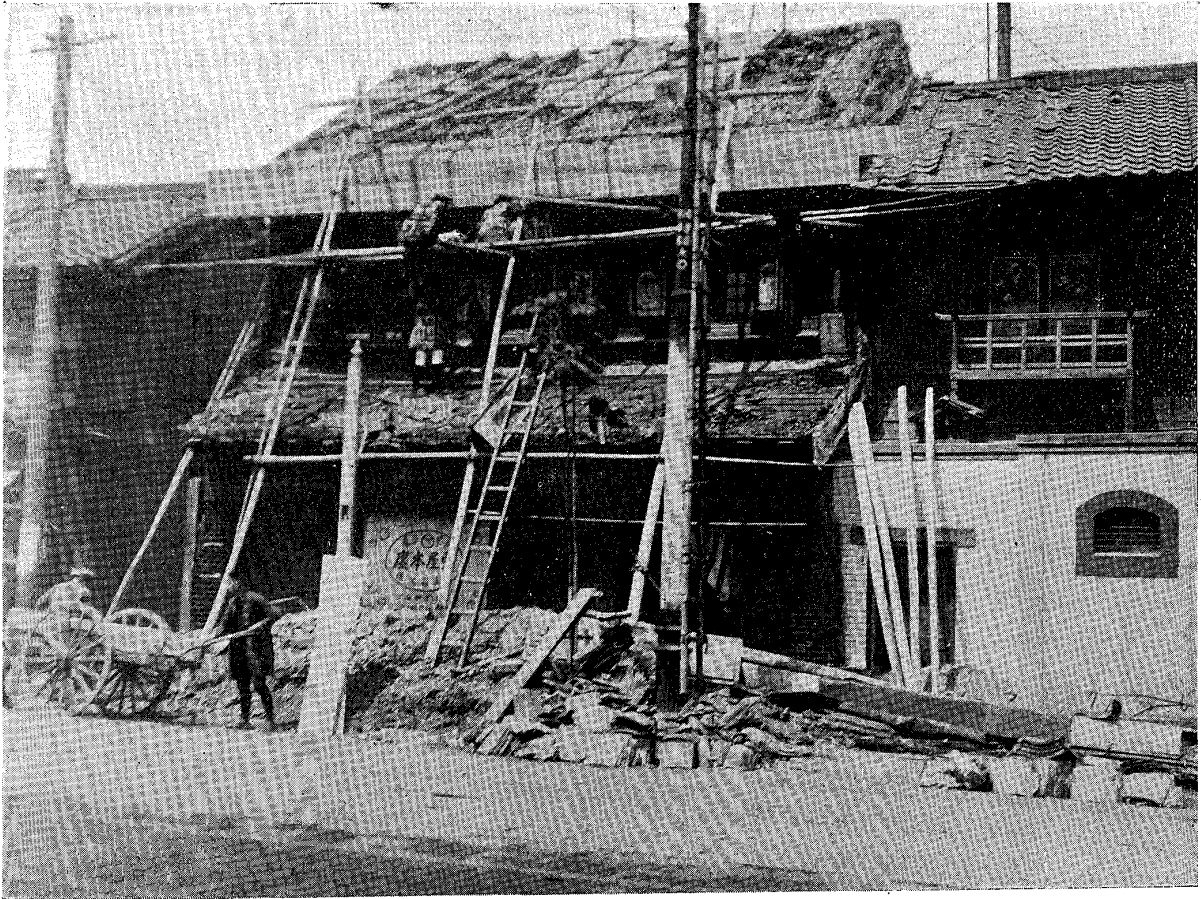
ス示ヲ況狀ノ落脱瓦及壁妻切造藏土方會商中田八十二町柳小區田神
リセ傷重名二ノモルタシ出ビ飛ニ外屋テシトシ難避リヨニ落脱該

第十三圖



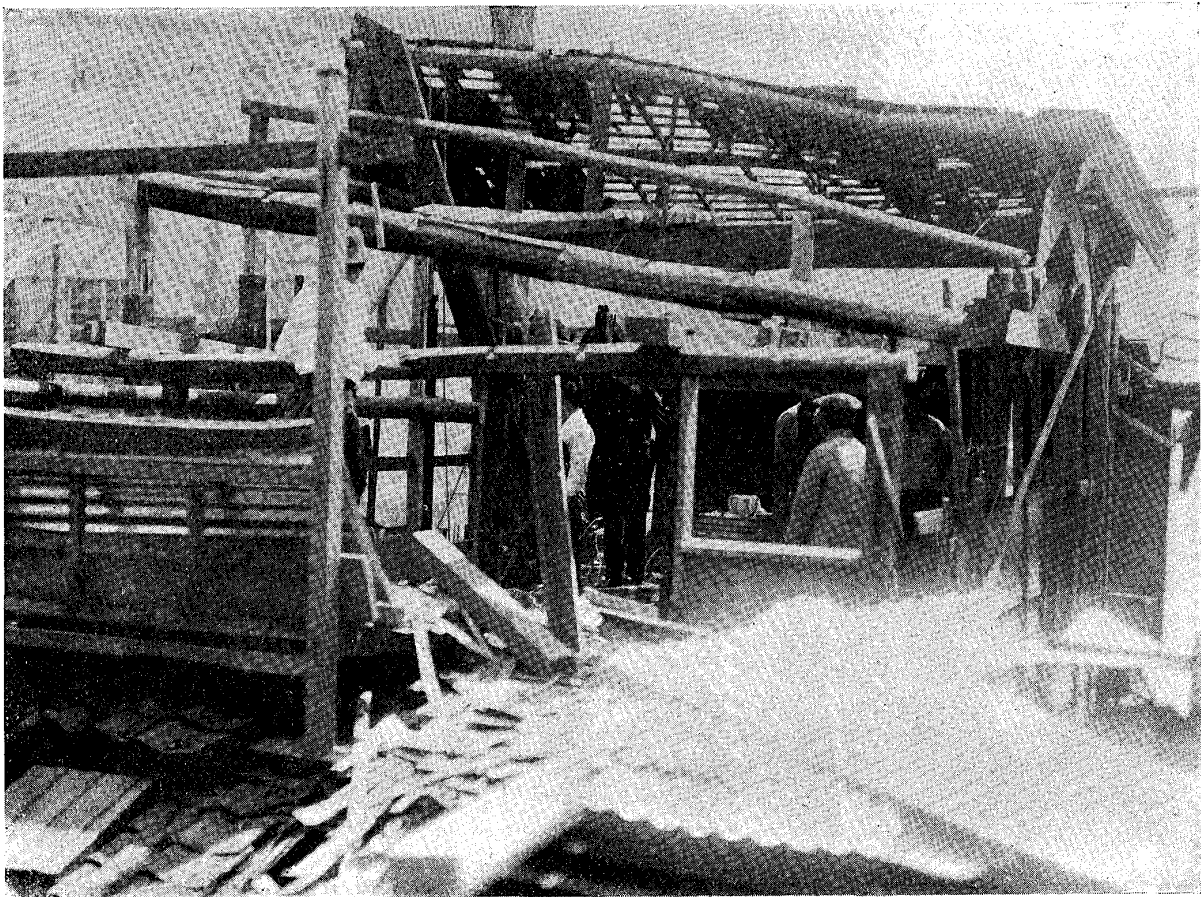
ス示ヲ蝕乾ノ柱ハ印×ス落脱壁根屋 ス示ヲ害被ノ藏土方郎次榮原前一目丁三町舟入區橋京

第十五圖



芝區西久保八幡三丁目壺屋菓子店土藏造鉢巻脱落ノ爲メ根瓦損破ノ狀況ヲ示ス

第十六圖

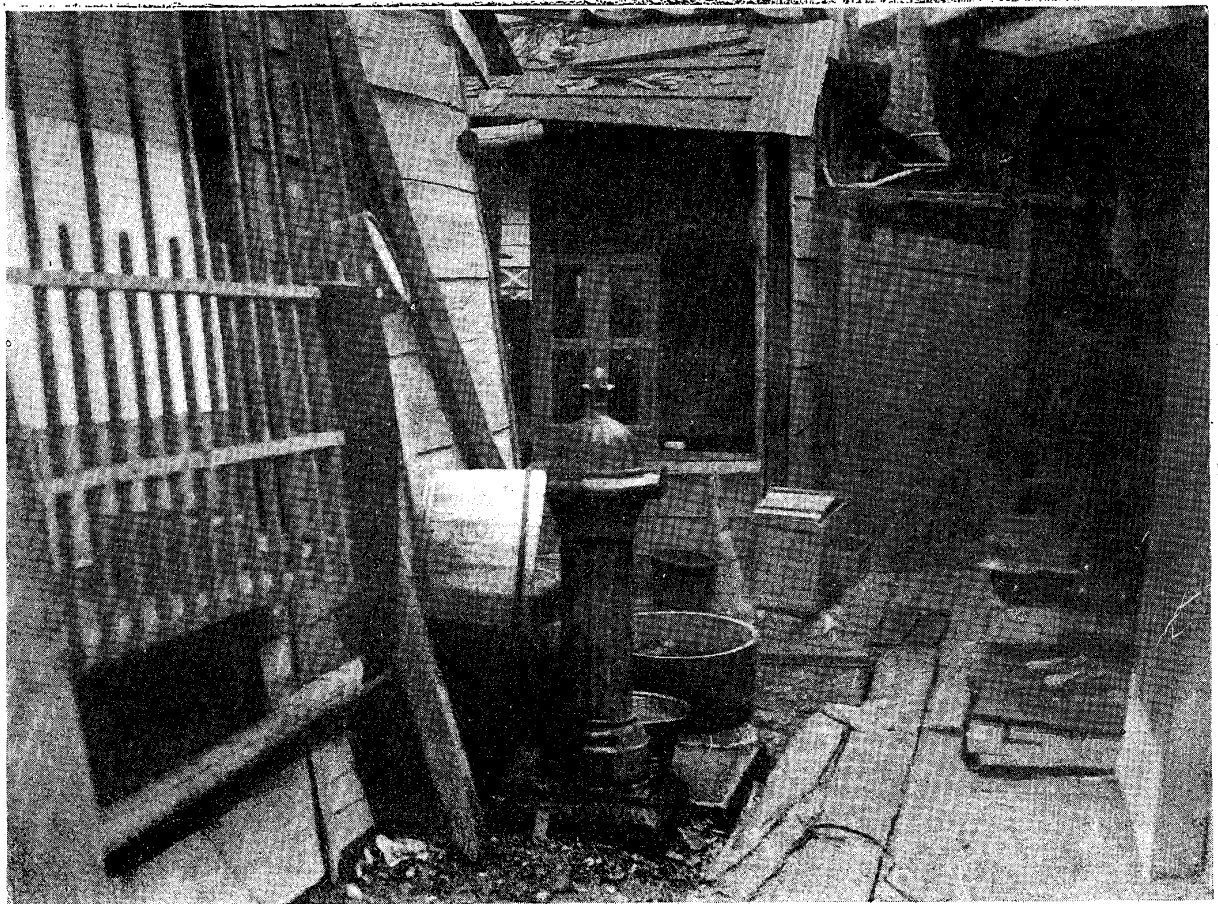


修繕中ノ木造二階家破壞ノ狀況ヲ示ス



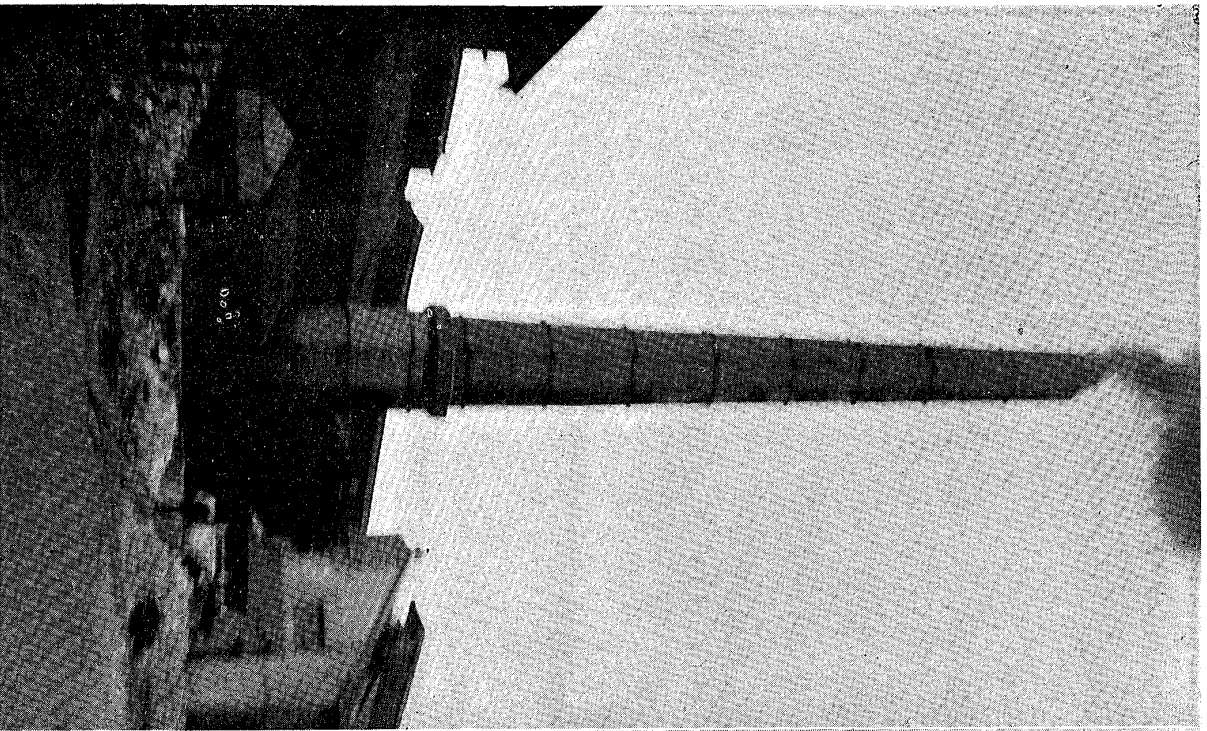
第十七圖

日本橋區松島町十七小泉竹三郎所
有長屋木造家屋傾斜ノ狀況ヲ示ス



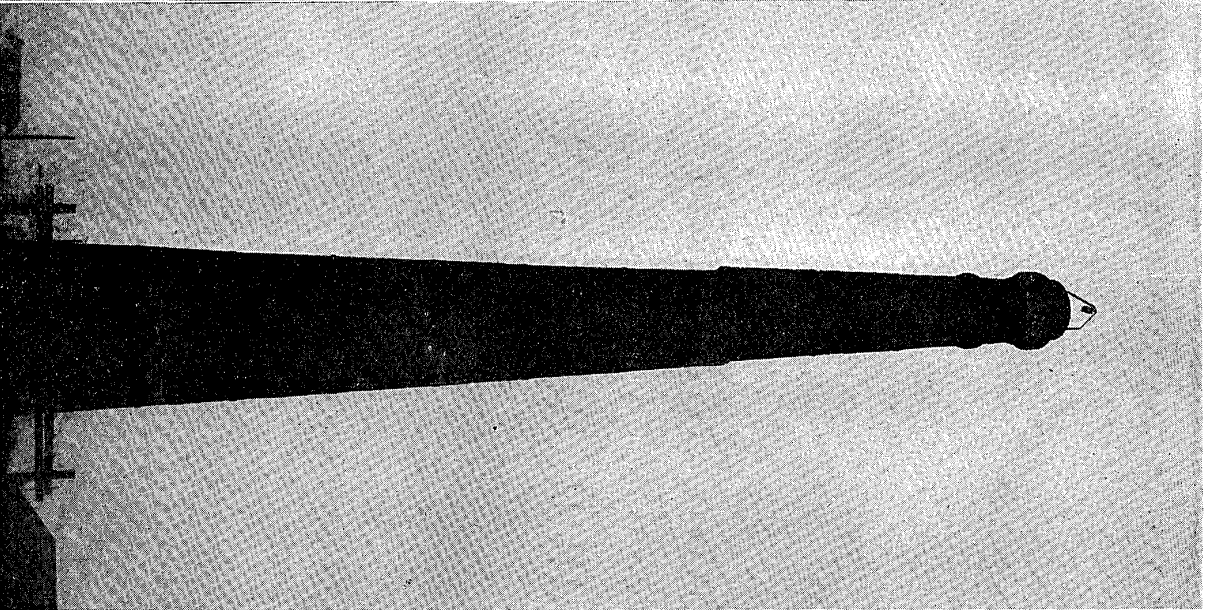
第十八圖

日本橋區松島町十七小泉竹三郎所
有長家木造家屋傾斜ノ狀況ヲ示ス



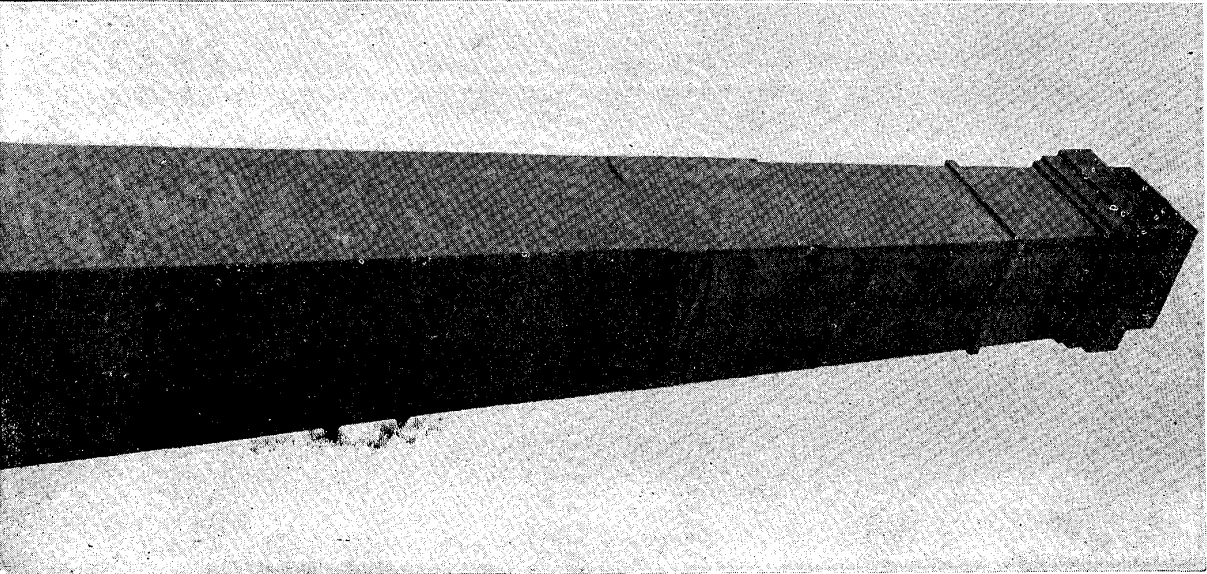
龍燒ノ本根シ塚倒部上突煙造瓦煉社會瓦煉白川品
 (在所町宿東宿川品北町川品郡原庄)ノ塚破ヲ家上

圖一十二第



有所美敬田藤一目丁ニ町下宿愛區芝
 ス示ヲ況狀ノ動滑部上突煙造瓦煉場浴

圖十二第



社會式株料塗國帝五十町場木風川深
 ス示ヲ況狀ノ轉廻部上突煙造瓦煉

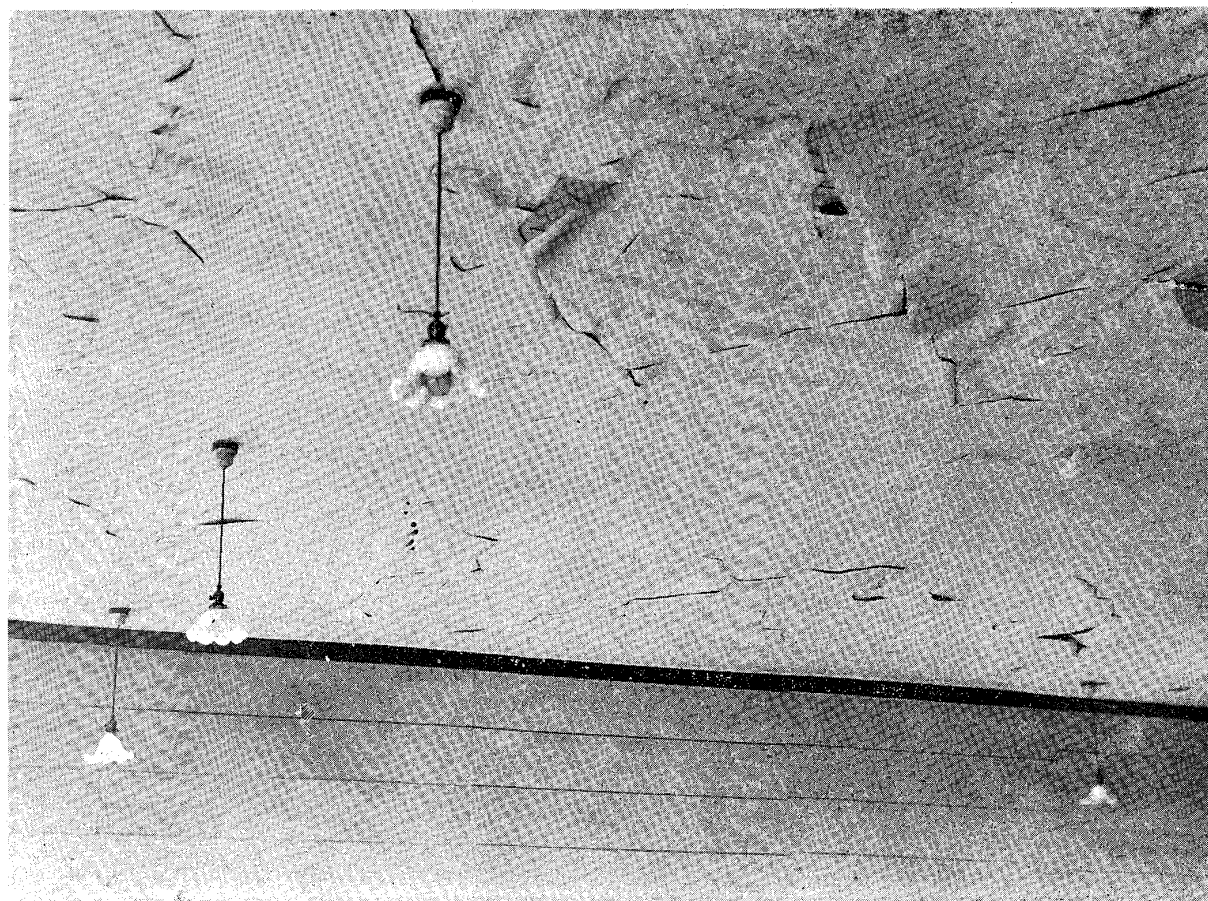
圖九十第

第二十二圖

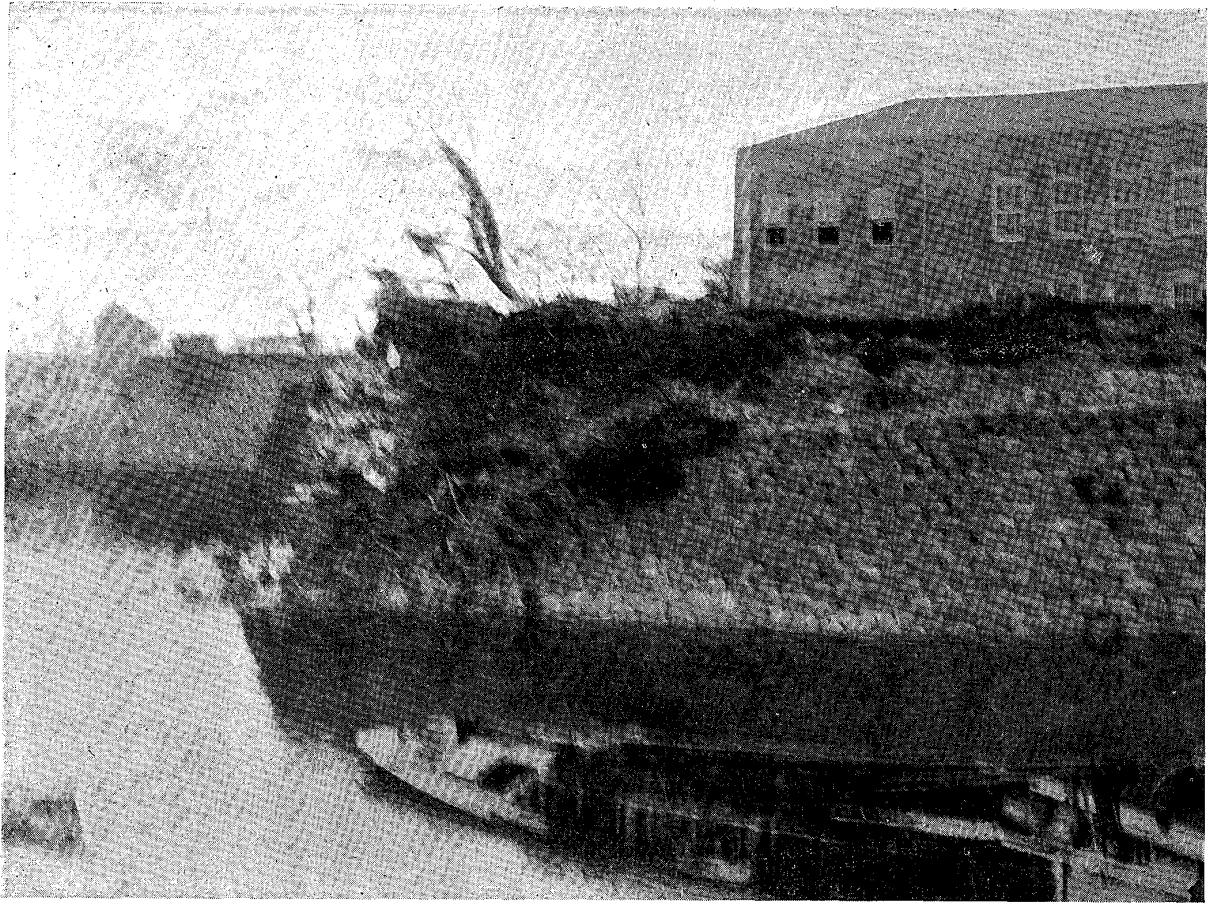


ストリナ室覽閣書圖ハ室ルタシ附ヲ印○ ス示ヲ況狀ノ害被ノ瓦根屋學大本日町崎三區田神

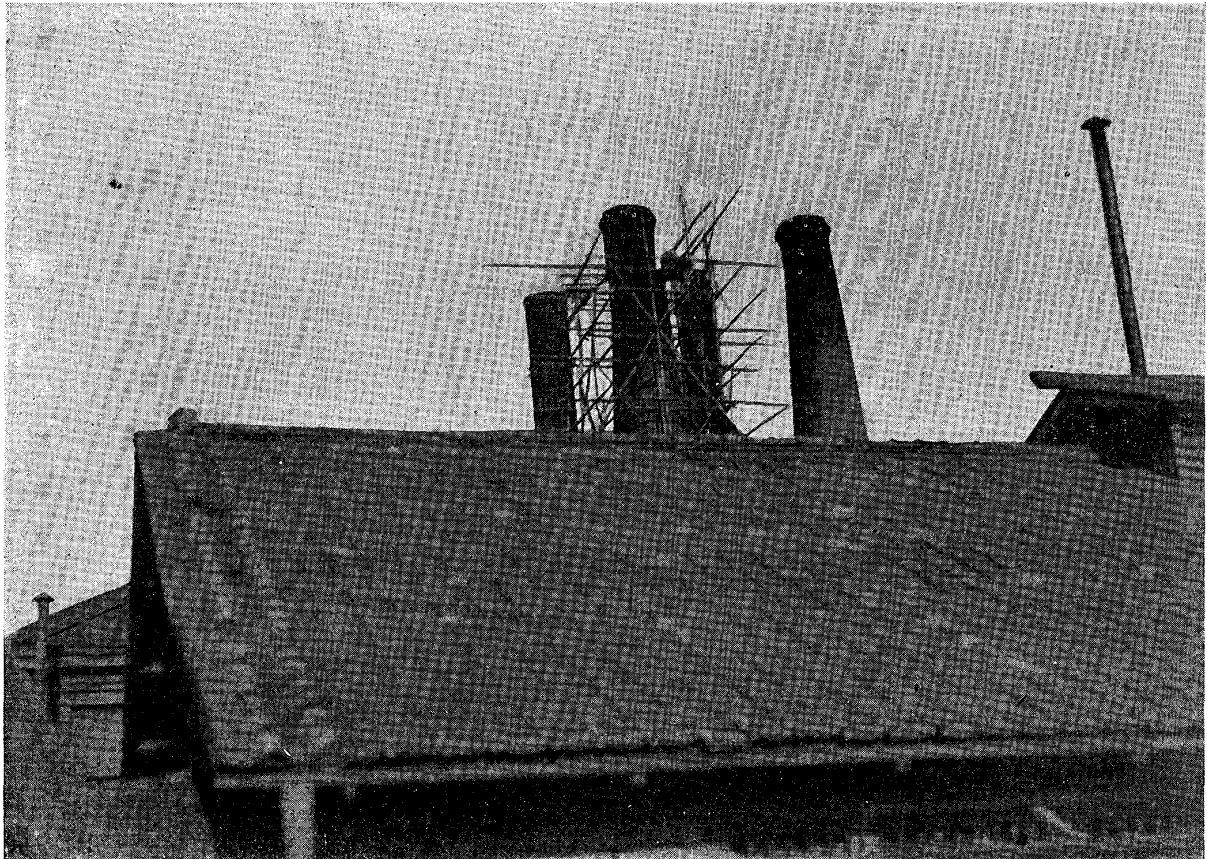
第二十三圖



ス示ヲ害被ノ(張紙地下摺木)井天室覽閣書圖學大本日町崎三區田神
リナノモルタミ歪ニ平水井天ノ階ニメタキナ材燧ニ屋小根屋

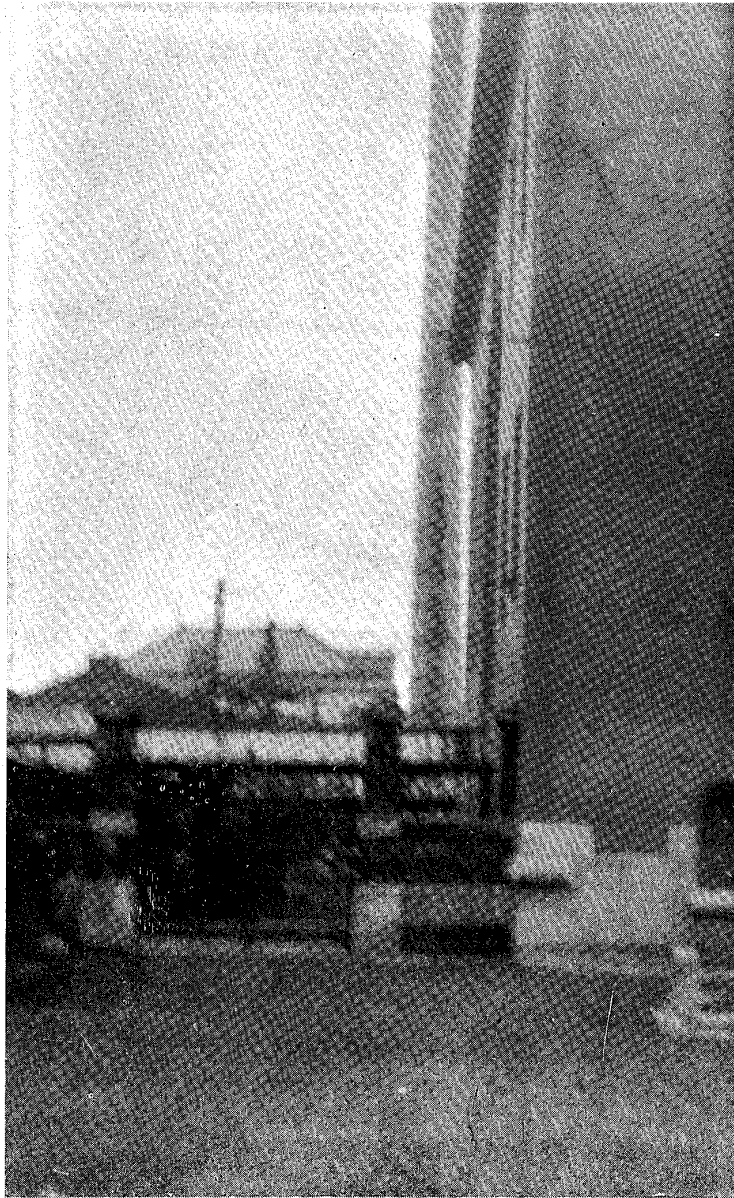


外橋田神 外濠石垣崩壊ノ状況ヲ示ス



大正十年八月八日強震ノ爲メ深川野メセトン株式會社煉瓦造煙突上部ニ一尺二寸ノ高ノ煙突、滑動シテ位置ニシテ煙突頂上迄二尺ニシテ滑動シテ状況ヲ示ス

第二十六圖



鐵ル在ニ間ノト所判裁方地ト所判裁區京東
リセ斜傾クシ少ニ方東ガ突煙ノ造土凝混

リハ被害ヲ更ニ輕減スルヲ得ザルベシ。

木骨石造又ハ木骨煉瓦造建物ノ非耐震的ナルハ既ニ定評アリシ所ニシテ本構造ノ建物ヲシテ耐震的ナラシムルハ殆ド不可能ナルベシ。

木造建物ニ於テハ壁ノ部分ニ罅裂ヲ生ゼシモノハ其ノ數極メテ多ケレドモ特殊ノ狀況ニアリシモノ、外、大破セシモノナシ、此ノ構造ニヨル建物ニシテ階數一又ハ二ニシテ接手仕口ヲ考慮シ適當ナル筋違ヲ有スルモノニシテ、餘リニ大ナル張間ヲ有スル室ナキモノハ比較的耐震的ニシテ石造、煉瓦、又ハ木骨石造、木骨煉瓦造ノ如キ建物ニ遙カニ優レリ。

木骨塗家造及ビ土藏造ニ於テハ地震動ノタメ塗土ト木骨部分トハ緊結セラレタル儘振動シ難ク、兩者ノ連絡絶タレ易ク爲メニ塗土部分ノ脱落ヲ來スモノニシテ木骨部分ヲ歪マザル横筋違材等ヲ用ヒテ構造スルノ外ナシ。

寫眞第二十二、二十三、二十四、二十五、二十六圖、ハ參考迄ニ添附セルモノナリ。

寫眞第二十五圖ハ大正十年十二月八日ノ強震ニヨルモノナリ。